

平成 22 年 7 月 29 日
原子力安全・保安院
中国四国産業保安監督部四国支部

鉱山の残壁整形における適切な小段の存置について

平成 22 年 7 月 9 日、中国四国産業保安監督部四国支部は、平石山鉱山に対し、残壁整形時に適切な小段を存置するよう指示を行いました。

平成 22 年 6 月 30 日、平石山鉱山において保安検査を実施したところ、採掘が済み残壁となった法面に、採掘跡の処理方法として定められた小段（犬走り）が殆ど存置されていませんでした。

このため当支部では、同鉱山の保安統括者に対し、残壁整形に際し適切な小段（犬走り）を存置することを指示し、残壁崩壊、転落石による災害を防止するため保安の確保に万全を期すよう求めました。

（本発表資料のお問い合わせ先）

中国四国産業保安監督部四国支部 鉱山保安課

担当者：大川鉱山保安課長、桑原総括班長

電 話：087 - 811 - 8591